

新規認証（分解＋電子） 提出書類チェックシート

チェック欄

- ☐ 1 自動車特定整備事業の認証新規申請書（第1号様式）×2部
- ☐ 2 法人登記に関する書面（登記事項証明書等）
申請者及び役員を特定するための書面
（個人の場合は住民票など申請者を特定するための書面で可）
- ☐ 3 土地または建物の登記簿謄本などの書面
事業場の所在地を証明するための書面
※借用している場合には、賃貸契約書等の使用権原を証する書面の写しも添付
- ☐ 4 従業員名簿
工員数及び整備士の資格保持者を確認するための書面
- ☐ 5 整備主任者選任届
整備主任者を選任する書面
- ☐ 6 自動車検査用機械器具基準適合性試験成績書または自動車検査用機械器具校正結果証明書
一酸化炭素測定器及び炭化水素測定器が技術上の基準に適合していることを確認するための書面
（原動機を対象としない場合は不要）
- ☐ 7 整備主任者に選任される者の資格を確認するための書面
次のいずれかの書面の写し
・電子制御装置整備の整備主任者等資格習得講習の修了証
・1級小型自動車整備士の合格証書等
・1級自動車整備士（総合）の合格証書等
・2級自動車整備士（総合）の合格証書等

記載例

分解整備＋電子制御装置整備を、
新規で認証の申請をする場合

第1号様式（認証）

認 証 番 号	
認 証 年 月 日	年 月 日

(注)担当官記載欄

自動車特定整備事業（新規新規申請書）

関東運輸局長 殿

茨城運輸支局長 殿

道路運送車両法等の規定により別紙書面を添え申請

また、同法第80条第1項第2号に該当しないことを確認しました。

(注)該当しない項目は記載を省略することができます。（全ての項目に共通）

(注)必要に応じて、記載枠を追加・拡大または削除・縮小することができます。（全ての項目に共通）

番地等は、登記事項証明書等の添付書面どおりに記載してください。

正しい記載の例：1234番地5号

誤った記載の例：1234－5

(ふりがな)	かぶしがいしゃ○○じどうしゃ	○○○○
申請者の氏名又は名称	株式会社○○自動車	代表取締役○○○○
申請者の住所	〒○○○-○○○○	茨城県水戸市○○番地の○○
電話番号	TEL○○○-○○○-○○○○	FAX○○○-○○○-○○○○
(ふりがな)	かぶしがいしゃ○○じどうしゃ	○○こうじょう
事業場の名称	株式会社○○自動車	○○工場
事業場の所在地	〒○○○-○○○○	茨城県水戸市○○番地の○○
電話番号	TEL○○○-○○○-○○○○	FAX○○○-○○○-○○○○
認定番号		

1-① 自動車特定整備事業の種類

自動車特定整備事業 の種類別の	☐	普通自動車特定整備事業
	☐	小型自動車特定整備事業
	☐	軽自動車特定整備事業

(注)□枠内の該当するものに○を記載すること。

1-② 対象とする自動車の種類、整備及び装置の種類

対象自動車の種類 の別	対象自動車の整備及び装置の種類別の										
	全て	分解整備								電子制御装置整備※	
		全て	原動機	動力伝達	走行	操縦	制動	緩衝	連結	自動運行 (運行補助を含む)	運行補助
普通自動車(大型)											
普通自動車(中型)	☐										☐
普通自動車(小型)	☐										☐
普通自動車(乗用)	☐										☐
大型特殊自動車	☐										
小型四輪自動車	☐										☐
小型三輪自動車	☐										☐
小型二輪自動車	☐										
軽自動車	☐										☐

(注)□枠内の該当するものに○を記載すること。

※電子制御装置整備を申請する場合は以下確認の上、チェック欄にレ点すること。

1-②に記載した電子制御装置整備については、整備用スキャンツール、運行補助装置整備に必要な情報及びエーミングに必要な機器を入手することができる体制が確保できます。

チェック欄 ☒

1-③ 業務の範囲の限定

業務の範囲の限定の別		軽油を燃料とする原動機を除く
		ガソリン又は液化石油ガスを燃料とする原動機を除く
		カタピラ付大型特殊自動車に限る
		その他 ()

(注) □枠内の該当するものに○を記載すること。

2 工員の構成

工員の構成	合 計 (工員数)	整備士数						整備士 以外の 工員数
		一 級 (二輪除く)	一 級 (二 輪)	二 級	三 級	車 体	電 気	
	4 人	1 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	2 人

3 宣誓書

道路運送車両法第80条第1項第2号に該当しないことを確認しました。				チェック欄 ☒
役 員 氏 名	役 職 名	役 員 氏 名	役 職 名	
〇〇 〇〇	代表取締役			
〇〇 〇〇	取締役			
〇〇 〇〇	監査役			

(注) 法人企業の場合は、同法第80条第1項第2号に該当しない。

(注) 宣誓書を別に提出する場合は記載を省略することができる。

法人登記のとおり記載してください(個人事業者として申請する場合、この欄の記載は不要)

正しい記載の例: 取締役

誤った記載の例: 専務取締役

4 出身業態

出身業態の別	○	専業		ディーラー		目家
		自動車用品販売店		ガソリンスタンド		受検代行業
		その他 ()				

(注) □枠内の該当するものに○を記載すること。

5 屋内作業場等

作業場の規模	間 口	奥 行	面 積	天井高さ	床面状況
車 両 整 備 作 業 場	7.30 m	10.00 m	73.00 m ²	4.0 m	平滑
部 品 整 備 作 業 場			13.80 m ²	4.0 m	平滑
点 検 作 業 場	6.50 m	10.00 m	65.00 m ²	4.0 m	平滑
車 両 置 場	3.50 m	8.00 m	28.00 m ²		

6－① 電子制御装置点検整備作業場等（6－②、7に該当しない場合）

作業場の規模	間 口	奥 行	面 積	天井高さ	床面状況
電子制御装置 点検整備作業場	5.00 m	13.00 m	65.00 m ²	(4.0) m	平滑
	(5.00) m	(10.00) m	(50.00) m ²		
車両置場	3.50 m	8.00 m	28.00 m ²		

(注) 電子制御装置点検整備作業場は、屋内部分を（ ）内に記載すること。

(注) ⑤の車両置場を有する場合には、車両置場の欄の記載を省略することができる。

6－② 電子制御装置点検整備作業場（施行規則第3条第8号ハに係る作業場の場合）

作業場の規模	間 口	奥 行
事業場所在地に有する作業場	m	m

(注) 電子制御装置整備のみを行う事業場であって、事業場所在地に電子制御装置点検整備作業場を有していない場合は記載すること。

7 電子制御装置点検整備作業場（離れた作業場又は共同使用の作業場を有する場合）

離れた作業場又は 共同使用の作業場の別		離れた電子制御装置点検整備作業場			
		共同使用の作業場			
当該作業場の 所在地（※1）					
自動車による当該作 業場までの所要時間		分			
作業場の規模	間口	奥行	面積	天井高さ	床面状況
電子制御装置 点検整備作業場	m	m	m ²	() m	
	() m	() m	() m ²		
車両置場（※2）	m	m	m ²		
施行規則第3条第8号 ハに係る作業場	m	m			
共同使用 の作業場 の 氏名又は 名称					
電子制御装置整備（エーミングを含む）を行うために必要な情報（整備要領書等）の入手方法を記載してください ※現地調査時に入手方法（システムのログイン画面等）を確認させていただきます					

(注) 「※1」は離れた電子制御装置整備作業場を記載すること。
(注) 「※2」は「6－②」に該当する作業場を有する場合に記載し、

「※3」は共同使用の場合に記載すること。

8 電子制御装置整備に必要な情報、エーミング作業に必要な機器を入手できる体制

電子制御装置整備に必要な情報	FAINESに加入
エーミング作業に必要な機器	〇〇ターゲットパターンを所有

機器を借用する場合には、「〇〇自動車株式会社から借用」のように具体的に記載してください。また、借用出来る証として事業場内に設置した写真を添付してください。

9 作業機械等

	名 称		型式・能力 等	数 量
作業機械	プレス		12.0t	1
	エア・コンプレッサ		1, 37MPa	1
	チェーン・ブロック		1.0t	1
	ジャッキ		2.0t	1
	バイス		125mm	1
	充電器		ABC-100	1
作業計器	ノギス		150mm	1
	トルク・レンチ		200N・m	1
	水準器		型式（不明な場合は気泡式などでも可）	1
点検計器 及び 点検装置	サーキット・テスタ		ABC-100	1
	比重計又はバッテリー・テスタ		スポイト式	1
	コンプレッション ・ゲージ	(ガソリン用)	0～2.5MPa	1
		(ジゼル用)	0～7.5MPa	1
	ハンディ・バキューム・ポンプ		-100KPa	1
	エンジン・タコ・テスタ又は整備用スキャンツール		メーカー 型式 ソフトバージョン (整備用スキャンツールの場合)	1
	タイミング・ライト又は整備用スキャンツール		メーカー 型式 ソフトバージョン (整備用スキャンツールの場合)	1
	シックネス・ゲージ		6枚	1
	ダイヤル・ゲージ		0～10.0mm	1
	タイヤ・ゲージ		1200kPa	1
	検車装置		二柱 3t	1
	一酸化炭素	技術要件に適合していることが確認出来るように記載すること。	AA-100 0～10%	1
	炭化水素		AA-100 0～10000ppm	1
	整備用スキャンツール		メーカー 型式 ソフトバージョン	1
工具	ホイール・プーラ		普大対象自動車	1
	ベアリング・レース・プーラ		普大対象自動車	1
	グリース・ガン又はシャシ・ルブリケータ		Φ60mm×300mm	1
	部品洗浄槽		410x720x220mm	1
備考				

技術要件に適合していることが確認出来るように記載すること。

10 事業場平面図

事業場の名称	株式会社〇〇自動車 〇〇工場														
(例：レイアウト、寸法、縮尺、方位等を記載) ・事業場の平面図を記入し、電子制御装置点検整備作業場を赤で囲い[チ]とする。 ・壁を実線、壁のない境界線を点線で記入する。 ・方位、寸法、縮尺を正しく記入すること。 N ↑ 1 / 150															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 5%;">凡例</td> <td style="width: 5%;">イ</td> <td style="width: 40%;">車両整備作業場</td> <td style="width: 5%;">ロ</td> <td style="width: 20%;">部品整備作業場</td> <td style="width: 5%;">ハ</td> <td style="width: 20%;">点検整備作業場</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ニ</td> <td>車両置場</td> <td>ホ</td> <td>その他</td> <td>チ</td> <td>電子制御装置点検整備作業場</td> </tr> </table>		凡例	イ	車両整備作業場	ロ	部品整備作業場	ハ	点検整備作業場		ニ	車両置場	ホ	その他	チ	電子制御装置点検整備作業場
凡例	イ	車両整備作業場	ロ	部品整備作業場	ハ	点検整備作業場									
	ニ	車両置場	ホ	その他	チ	電子制御装置点検整備作業場									

従業員名簿

R2年 4月 1日現在

[illegible]

第4号様式（認証）

整備主任者（選任・変更）の届出書

茨城運輸支局長 殿

年 月 日

道路運送車両法等の規定により別紙書面を添え（選任・変更）します。

(注) 選任にあつては「選任」、変更にあつては「変更」の文字に○を記載すること。
(注) 該当しない項目は記載を省略することができる。（全ての項目に共通）
(注) 必要に応じて、記載枠を追加・拡大または削除・縮小することができる。（全ての項目に共通）

(ふりがな)	かぶしがいいしゃ ○○じどうしゃ ○○○○
届出者の氏名又は名称	株式会社○○自動車 代表取締役○○○○
届出者の住所	茨城県水戸市○○番地の○○
電話番号	TEL: ○○○-○○○-○○○○
(ふりがな)	かぶしがいいしゃ○○じどうしゃ ○○こうじょう
事業場の名称	株式会社○○自動車 ○○工場
事業場の所在地	茨城県水戸市○○番地の○○
電話番号	TEL: ○○○-○○○-○○○○
認証番号	

1 新たに選任した整備主任者

氏名	生年月日	統括管理業務開始日	整備士合格証書番号又は講習修了証の受講番号
茨城 太郎	昭和 60年 1月 1日	年 月 日	関東一か第1111号
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	

(注) 整備主任者等資格取得講習の修了証を有する者は、当該修了証の受講番号を記載すること。
(注) 一級整備士（一級二輪の整備士を除く）は整備士合格証書番号を記載すること。

2 辞任等した整備主任者

氏名	辞任等年月日	氏名	辞任等年月日
	年 月 日		年 月 日
	年 月 日		年 月 日

3 既に選任されている整備主任者

氏名	生年月日	氏名	生年月日
茨城 太郎	昭和 60年 1月 1日		年 月 日
	年 月 日		年 月 日
	年 月 日		年 月 日
	年 月 日		年 月 日

備考	
----	--